

横須賀市中小企業景況レポート

第20号（平成29年10月号）

編集・発行：横須賀市経済部経済企画課
〒238-8550 横須賀市小川町11
電話 046-822-9523

市内中小企業の景況感を調査しました。

調査対象は、かながわ信用金庫と湘南信用金庫が従来から行っている景況調査先のうちの市内企業に加え、横須賀市及び横須賀市産業振興財団がさらに追加調査しました。

3か月に1回発行しています。

【市ホームページ（下記）からもご覧いただけます。】

横須賀市中小企業景況レポート | 横須賀市

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4402/keikyoureport/yokosukasikeikyuripoto.html>

- ① 調査対象：市内中小企業
- ② 調査企業数：185社（うち、かながわ信用金庫+湘南信用金庫 調査168社）
- ③ 調査期間：前期・・・平成29年4～6月の景況感（調査時点 平成29年6月1日）
今期・・・平成29年7～9月の景況感（調査時点 平成29年9月1日）
次期・・・平成29年10～12月の景況感（ // ）
- ④ 調査項目：景況、売上額、収益、雇用人員、資金繰り
- ⑤ 業種分類：製造業、建設業、卸・小売業、不動産業、サービス業
- ⑥ 集計方法：DI値算出による（次ページにDI値の説明あり）

景況及び4項目の調査結果（全業種）

*DI値調査結果は裏面に記載

全業種の景況感は、前期の△2から1P改善し、△1Pとなりました。

業種別にみると、建設業、卸・小売業は若干悪化していますが、製造業、不動産業、サービス業で改善しました。なかでも製造業は14Pと大きく改善し、前期の12Pから26Pとなりました。

次期については、改善が見込まれていますが、製造業、サービス業は悪化することが予想されています。

全業種の項目別でみると、売上額は、今期△3Pで横ばいでしたが、次期は9Pで、12Pの改善が予想されます。収益も、今期△8Pで横ばいでしたが、次期は1Pで、9Pの改善が予想されます。

一方で雇用人員は、今期△31Pでしたが、次期は△33Pと予想され、引き続き人手不足感があり、厳しい状況が続いています。

昨年同期（平成28年7月～9月）の売上額の比較については「減少」と回答した企業の割合が増え、「増加」が減ったため、DI値は△5.9Pとなっています。

DI 値・・・良い（多い）、変わらない（普通）、悪い（少ない）の回答のそれぞれが全体に占める構成比を求めます。次に、良い（多い）等の構成比（％）－悪い（少ない）等の構成比（％）を計算した結果です。プラス値が大きいほど景況感が良く（好況）、マイナス値が大きいほど景況感が悪い（不況）と言えます。

特に決まりはありませんが、このレポートは次の基準で記載しました。（マイナスは△表示）

○良い：15P 以上



○やや良い：6P～14P



○変わらない（普通）：△5P～5P



○やや悪い：△6P～△14P



○悪い：△15P 以下



業種別 調査結果と事業者の声

*DI 値調査結果は裏面に記載

（1）製造業 景況感 26P（前期比+14P） <良い>



売上額（10P）は、景況感の改善とともに良化に転じました。

しかし、その他の項目は、9～12P 悪化してしまいました。特に雇用人員は、前回の△30P から△42P になり、人手不足感がさらに進みました。

次期にかけても、改善しないと予測されています。

☆事業者の主な声☆

- ・若い溶接工が働いていることが、わが社の強みである。
- ・2020 年の東京オリンピックまでは、土木・建機業界が好調に推移すると予測されるので、受注は好調を維持すると期待している。
- ・もともと小口の受注を多く手掛けているので、大きな変動はない。
- ・受注の変動が大きいので、安定した受注が確保できるように営業活動をしていく。
- ・7月の受発注商談会で、1社成立した。成約した企業の所在地がだんだん遠くなっている。

（2）建設業 景況感 5P（前回比△7P） <やや悪い>



売上額（2P）は、15Pの悪化となりました。雇用人員（△34P）は、前回比8Pと少しの改善がありましたが、依然として人手不足が続いており、次期に向けても改善が見込まれていない状況です。

☆事業者の主な声☆

- ・横須賀の中小のハウスメーカーに東京五輪の特需は感じられない。
- ・地元の若く有能な建築士が、ハウスメーカーに転職していく現状は寂しく思う。
- ・マンションの大規模修繕工事が多く、工期も長い。人員を多く必要とするため、人員の確保が困難になりつつあり、外国人労働者の手配も考えている。
- ・今までは売上げ重視であったが、7月から利益率の高い工事にシフトしている。
- ・受注確保すべくチラシ配布や家屋老朽化先へ直接アプローチしていく。
- ・新築物件に対する売上げ割合は減少しているが、リフォーム物件に対する売上げ・張替え等は上昇傾向にある。

(3) 卸・小売業 景況感△26P (前回比△5P) <悪い>



今期は、全ての項目が横ばいで、悪い状況が続いています。
次期は、売上額が 26P、収益が 20P と大きく改善が見込まれています。

☆事業者の主な声☆

- ・ 買い物をすることが「面倒」と感じる消費者が増えていることも事実で、小売業は、今後さらに厳しい状況になると思っている。
- ・ 食品・酒類に関して、高齢者に対する店頭販売、配達が主となっており、若者はコンビニで買ってしまうため利用者が少ない。
- ・ 地域が活性化しないと業況は改善しない。
- ・ 仕入価格の変動をいかに売価に転嫁できるかが問題点である。
- ・ 固定客をメインにしているので、大きな変動は少ない。
- ・ 店頭販売を補うべく、配達業務にも力を注いでいる。

(4) 不動産業 景況感 7P (前回比+2P) <やや良い>



収益 (7P)、雇用人員 (△7P) は、前期に比べ、収益 13P、雇用人員 15P と改善しましたが、資金繰り (△29P) は、23P 悪化してしまいました。

次期は、雇用人員で 7P の悪化が予想されますが、収益で 14P、資金繰りで 15P の改善が見込まれています。

☆事業者の主な声☆

- ・ 現在、大規模プロジェクトに着手していることから、今後も更なる増収・増益を見込む。
- ・ 在庫が不足しており、仕入れ強化が当面の課題である。
- ・ 賃料を下げても、駅近 (徒歩5分以内) でないと、テナント契約に至らない。
- ・ 新しい商業施設が出来ても、賃料が高く空きが目立っている。

(5) サービス業 景況感△2P (前回比+3P) <変わらない>



収益を除く全ての項目が悪化し、なかでも雇用人員 (△39P) は、前期と比べ 17P の悪化となっています。

次期は、収益で悪化の予想ですが、景況感は横ばいの見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・ 受注は堅調だが、運送業は労働環境が厳しいとのイメージがあり、中途採用を募集しても応募が少ないので、残業で対応している。
- ・ 固定客が高齢なこともあり、来店頻度が減っていることも、減少要因となっている。若年・中年層の取り組みが課題である。
- ・ 大手に人材を取られているためか、数年前まで数件あった会社訪問や面接が、近年著しく減少している。人材確保の面で、大手と違いPR不足は否めない。
- ・ 乗務員の高齢化による稼働率の低下が課題となっている。
- ・ 天候不順が続いたため、タクシー利用客が増加した。年末シーズンは、遠距離の利用者が減少していることから売上げ増加は期待できない。

【特別調査（年1回）】 市の中小企業振興施策への課題・要望を直接お伺いしました。
 回答企業数 126社（製造業28社、建設業31社、卸・小売業32社、不動産業9社、サービス業24社、業種不明2社）

◎市に求める支援分野（1社最大5つまで選択）

この分野は、横須賀市中小企業振興プランで示した取り組み方針を表しています。

分野	製造業	建設業	卸・小売	不動産	サービス	無記名	合計
1 域内(主に市内)消費需要の喚起・創出	15 (13.5)	20 (16.7)	20 (18.9)	3 (9.1)	12 (15.2)	1 (12.5)	71 (15.5)
2 域外(主に市外)からの消費需要の創出	12 (10.8)	8 (6.7)	28 (26.4)	8 (24.2)	18 (22.8)	1 (12.5)	75 (16.4)
3 官公需施策の推進と行政事務の見直しによる仕事量の拡大	9 (8.1)	25 (20.8)	6 (5.7)	4 (12.1)	11 (13.9)	1 (12.5)	56 (12.3)
4 中小企業制度融資の充実	17 (15.3)	29 (24.2)	25 (23.6)	8 (24.2)	14 (17.7)	3 (37.5)	96 (21.0)
5 経営力向上、人材確保などに向けた支援	35 (31.5)	29 (24.2)	19 (17.9)	4 (12.1)	16 (20.3)	2 (25.0)	105 (23.0)
6 新たな企業の立地、既存企業の再投資への支援	14 (12.6)	2 (1.7)	3 (2.8)	2 (6.1)	3 (3.8)	0 (0)	24 (5.3)
7 創業・事業所の開業の促進	9 (8.1)	7 (5.8)	5 (4.7)	4 (12.1)	5 (6.3)	0 (0)	30 (6.6)
合計	111 (100)	120 (100)	106 (100)	33 (100)	79 (100)	8 (100)	457 (100)

()内は各業種に占める構成比%

各項目で四捨五入しているため、合計が100%にならないことがあります。

◎求められている個別施策 上位 10 事業

() 内は左ページの分野のどこに該当する施策かを表しています。

- 1 位 企業の P R 補助金 (域内消費需要の喚起・創出)
- 1 位 制度融資に伴う信用保証料補助金 (中小企業制度融資の充実)
- 3 位 中小企業制度融資 (中小企業制度融資の充実)
- 4 位 官公需施策の推進 (官公需施策の推進と行政事務見直しによる仕事量の拡大)
- 5 位 利子補給 (中小企業制度融資の充実)
- 5 位 人材育成 (経営力向上、人材確保などに向けた支援)
- 7 位 行政事務見直しによる仕事量の拡大 (官公需施策の推進と行政事務見直しによる仕事量の拡大)
- 8 位 主に市内向け販路拡大への支援 (域内消費需要の喚起・創出)
- 9 位 主に市外向け販路拡大への支援 (域外からの消費需要の喚起・創出)
- 10 位 事業承継セミナーの開催 (創業・事業所の開業の促進)

制度融資やそれに伴う信用保証料補助金など、金融面での支援が上位に来ました。

企業 P R や販路拡大といった消費需要の喚起・創出にも多くの要望がありました。

人材不足が続いている中で、採用した人材の育成に対する支援が求められているようです。また、近年全国的に注目されている事業承継にも関心が高まっていることが分かります。

◎業種ごとに求められている施策の特徴

(製造業)

技術や資格を必要とする業種であり、そのための人材育成が最も求められています。企業 P R やビジネスマッチングなど、販路や取り引きの拡大も上位でした。

(建設業)

官公需施策の推進が最も大きな割合を占めました。公共事業の増加に期待をされています。その他、中小企業制度融資などが上位を占めました。

(卸・小売業)

企業 P R などの消費需要の喚起に関連する施策が求められています。それ以外では、中小企業制度融資に伴う信用保証料補助金が上位でした。

(不動産業)

中小企業制度融資や利子補給などの金融支援策が求められています。事業承継セミナーの開催にも強い関心が寄せられています。

(サービス業)

市内販路拡大や地場産品 P R の支援、官公需施策の推進が高い割合を占めました。中小企業制度融資などの金融面の支援も求められています。

《要望・意見》

- ・横須賀に産業を呼び込んで、雇用を生むような施策をとり、若い世代の人口増加を図ってほしい。
- ・中小企業は地元を支える大切な資源だと思う。市内にいることでのメリットを創造してほしい。
- ・雇用拡大を伴う企業の誘致、充実した教育機関の誘致、および観光資源の開発、誘客の取り組みを、市民を巻き込んでやってほしい。
- ・市内の中小零細企業の連携の場を増やしてほしい。
- ・中小零細企業の支援（販路拡大、金融支援）を充実させてほしい。
- ・新しい商業施設が建設され資本力の差で対抗できないのが現実である。中小企業（個人商店）が成り立つような計画・方針を立ててほしい。
- ・地元のイベントへの市の補助、地元企業の宣伝を充実させ、横須賀市を盛り上げてほしい。
- ・専門職や技術者雇用を図れるような仕組みを考えて、労働力確保のバックアップをしてほしい。
- ・ビジネスホテルが少ないので、市外から来社される方の宿泊先の手配に悩むことが多い。
- ・たくさんあった商店街がシャッター街となり、昔の横須賀を知るものとしては、寂しい。
- ・長期にわたって活用されていない企業の土地や廃校になった学校跡地は、売却しあらたに活用できるよう働きかけ、活性化のために新陳代謝を推し進めていただきたい。
- ・高齢者や障害をお持ちの方に配慮されたユニバーサルデザイン型のタクシーや環境に優しいLPガス車両をなどに助成金をお願いしたい。
- ・住宅取得、建設、リフォーム資金の助成、補助金の拡充をしてほしい。
- ・「市内（市外）企業向け受発注商談会の開催」は、参加業種が限られているので参加できない。
- ・消費税をはじめ、税金各種、社会保険料など、会社負担が大きく厳しい。
- ・ISOは、事務手続きが煩雑なうえコストがかかる。横須賀市独自の品質基準等を設け、認証するような制度があるとよいと思う。

〔経済施策に関わらないその他要望〕

- ・横須賀を活気づけるために、まず足元を見直し、横須賀市の改善に向けて助力していただきたい。
- ・藤沢市と比較されることが多いが、藤沢市は、若い人がイベントなどを立ち上げて盛り上げている。横須賀も新しい発想に柔軟に対応し盛り上げることはできないか。
- ・町内会長・理事などの待遇を手厚くすれば、なり手が増え競争になり、新たな発想が生まれるのではないか。



横須賀市が運営する、横須賀市の求人サイト

ごきんじょぶ

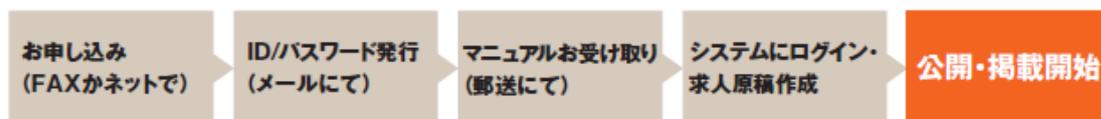
よこすか

10月オープン

無料でネットに 求人掲載できます

スマートフォンとパソコン、 どちらからでもアクセス可能	主婦・主夫層、シニア層向け 専用コーナー設置	地図(現在地)から 求人が探せます
どんな職種でも 無料で掲載できます	パート、正社員など どんな雇用形態でもOK	掲載原稿を 自由に編集できます
24時間、休日問わず、 応募をネットで受け付けます	応募があったら すぐにメールでお知らせします	求人の公開/非公開は いつでもできます

■お申し込み～求人公開の流れ



ネットの場合 [ごきんじょぶ よこすか](#) で検索 ⇒ 「求人掲載ご希望の企業・店舗様」

FAXの場合 市役所・行政センターなどにあるチラシの裏面(申込書)をご利用ください。

横須賀市
商工相談事業

専門家が

無料相談お受け します!

要予約

中小企業診断士、行政
書士、公認会計士、
税理士、弁理士、
弁護士、一級建築士、
社会保険労務士

☎ 046-828-1631

(公財)横須賀市産業振興財団

原則、同一の相談内容で2回目以降の対応はいたしません

DI 値 調査結果

前・・・前期 平成29年4～6月の景況感（調査時点 平成29年6月1日）
 今・・・今期 平成29年7～9月の景況感（調査時点 平成29年9月1日）
 次・・・次期 平成29年10～12月の景況感（ ” ” ）



業種別調査企業数(回答数)

(単位：社)

	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	不動産業	サービス業
前期	187	33	43	51	18	42
今期	185	38	44	50	14	39
次期	183	38	44	49	14	38

(単位：ポイント)

項目	業種	全業種			製造業			建設業			卸・小売業			不動産業			サービス業		
		前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次
景況		景況全般について総合的な概況をお聞きました。																	
	良い(A)	22	23	26	33	39	34	35	30	34	12	10	20	22	14	14	14	21	18
	変わらず	54	53	58	46	48	50	42	45	52	55	54	62	61	79	79	67	56	61
	悪い(B)	24	24	16	21	13	16	23	25	14	33	36	18	17	7	7	19	23	21
	DI値(A)-(B)	△2	△1	10	12	26	18	12	5	20	△21	△26	2	5	7	7	△5	△2	△3
	今-前、次-今	1	11	14	△8	△7	15	△5	28	2	0	3	△1						
売上額		製造業については、生産品を出荷した額をお聞きました。																	
	好転(A)	26	25	25	24	34	37	40	27	25	18	18	24	28	21	21	24	23	16
	変わらず	45	47	59	46	42	45	37	48	64	43	42	56	55	72	79	50	49	66
	悪化(B)	29	28	16	30	24	18	23	25	11	39	40	20	17	7	0	26	28	18
	DI値(A)-(B)	△3	△3	9	△6	10	19	17	2	14	△21	△22	4	11	14	21	△2	△5	△2
	今-前、次-今	0	12	16	9	△15	12	△1	26	3	7	△3	3						
収益		売上から経費を引いた収益状況をお聞きました。																	
	増加(A)	19	18	20	33	29	34	26	25	25	14	4	10	11	14	21	12	21	13
	変わらず	53	56	61	43	42	45	48	52	64	43	60	68	72	79	79	68	58	61
	減少(B)	28	26	19	24	29	21	26	23	11	43	36	22	17	7	0	20	21	26
	DI値(A)-(B)	△9	△8	1	9	0	13	0	2	14	△29	△32	△12	△6	7	21	△8	0	△13
	今-前、次-今	1	9	△9	13	2	12	△3	20	13	14	8	△13						
雇用人員		需要に対応できる労働状況をお聞きました。																	
	多い(A)	6	4	3	6	3	3	5	2	5	8	4	4	0	7	0	7	5	3
	適正	60	61	61	58	52	52	48	62	56	61	70	72	78	79	86	64	51	50
	少ない(B)	34	35	36	36	45	45	47	36	39	31	26	24	22	14	14	29	44	47
	DI値(A)-(B)	△28	△31	△33	△30	△42	△42	△42	△34	△34	△23	△22	△20	△22	△7	△14	△22	△39	△44
	今-前、次-今	△3	△2	△12	0	8	0	1	2	15	△7	△17	△5						
資金繰り		資金繰りが上手く行っているかを判断するためお聞きました。																	
	楽である(A)	10	11	11	18	16	16	14	11	11	6	12	12	11	0	7	2	8	5
	さほど苦しくない	73	65	68	70	63	60	70	71	71	74	60	68	72	71	72	81	66	74
	苦しい(B)	17	24	21	12	21	24	16	18	18	20	28	20	17	29	21	17	26	21
	DI値(A)-(B)	△7	△13	△10	6	△5	△8	△2	△7	△7	△14	△16	△8	△6	△29	△14	△15	△18	△16
	今-前、次-今	△6	3	△11	△3	△5	0	△2	8	△23	15	△3	2						

〈参考〉昨年同期と現在の売上比較(回答 136社)

	企業数	今期構成比	(参考) 前期構成比
昨年と比べ「売上額」が増加(A)	41社	30.1%	34.7%
昨年と比べ「売上額」が変わらない、横ばい	46社	33.9%	36.7%
昨年と比べ「売上額」が減少(B)	49社	36.0%	28.6%
DI値(A)-(B)		△5.9P	6.1P

